



平成 25 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 マ ル マ エ
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 前 田 俊 一
(コード番号 : 6264 東証マザーズ)
問 合 せ 先 取 締 役 管 理 部 長 藤 山 敏 久
(TEL. 0996-64-2900)

平成 25 年 1 月 度 月 次 受 注 残 高 に つ い て の お 知 ら せ

当社は、投資家をはじめとするステークホルダーの方々に、より正確に当社を理解していただくために、自社情報のタイムリー・ディスクローチャーを推進しておりますが、この一環として、下記のとおり当期平成 25 年 1 月 度 月 次 受 注 残 高 情 報 を 開 示 い た し ま す。

記

1. 月次受注残高 (百万円未満切捨て)

区分	受注残高	割合	対前月増減率	対前年同月増減率
F P D 分野	144	73. 5%	△ 21. 2%	226. 8%
半導体分野	33	17. 3%	5. 4%	9. 4%
その他	18	9. 2%	49. 0%	△ 62. 9%
合計	196	100. 0%	△ 13. 7%	58. 6%

2. 月次受注残高の推移 (百万円未満切捨て)

区分	H24. 2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月
F P D 分野	16	26	41	53	41	44
半導体分野	39	34	26	31	26	36
その他	51	48	48	34	35	25
合計	107	109	116	119	103	106

区分	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	H25. 1 月
F P D 分野	87	162	249	207	183	144
半導体分野	25	25	31	32	32	33
その他	14	12	13	13	12	18
合計	126	200	294	253	227	196

3. 月次受注残高の概況

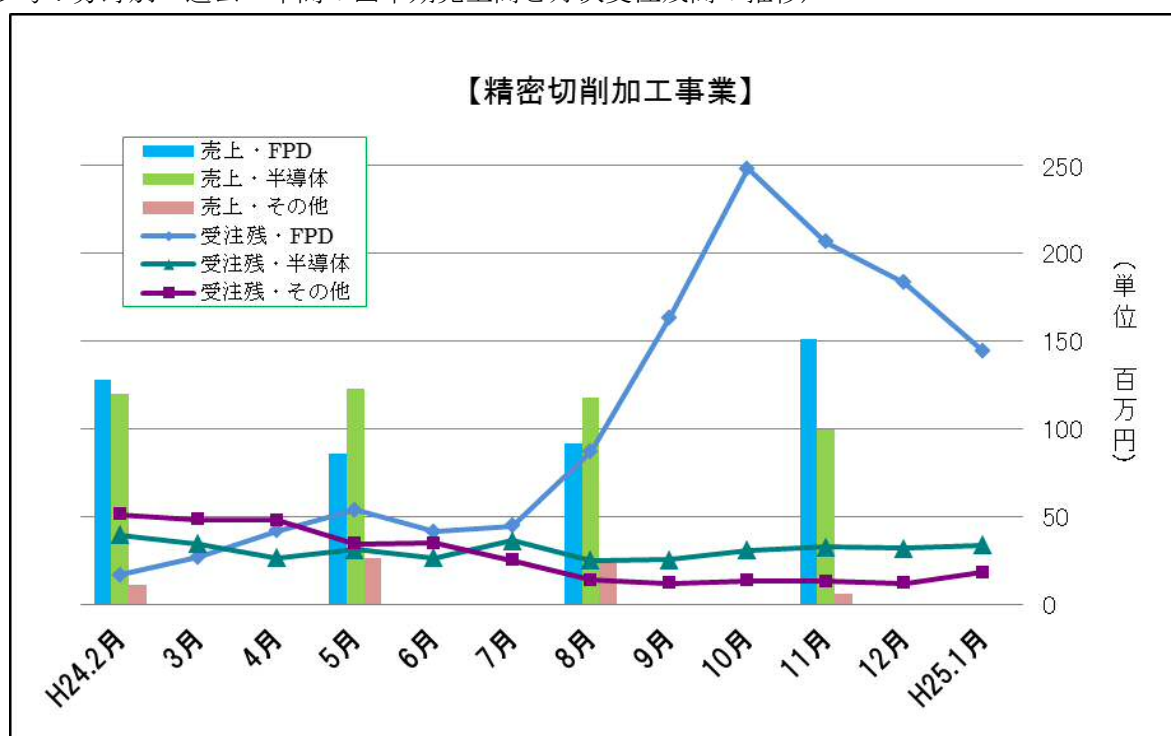
平成 25 年 1 月末の受注残高は、F P D 分野においては既存受注分の出荷検収が順調に進んでいることから、対前月増減率で 21.2%減、対前年同月増減率では 226.8%増の 144 百万円となりました。半導体分野においては、受注及び出荷検収が堅調に推移し、対前月増減率で 5.4%増、対前年同月増減率では 9.4%増の 33 百万円となりました。一方、太陽電池分野を含むその他分野においては若干受注が伸び、対前月増減率 49.0%増、対前年同月増減率では 62.9%減の 18 百万円となりました。これらの結果、平成 25 年 1 月末の受注残高は、対前月増減率 13.7%減、対前年同月増減率 58.6%増の 196 百万円となりました。

今後の見通しといたしましては、F P D 分野では、一定の受注はありながらも出荷検収の増加に伴い受注残は漸減する見通しです。半導体分野では、厳しい市場環境が続きながらも製造装置受注は底打ちの気配があり、新規受注を中心に増加する見通しを持っております。また、その他分野では、新規顧客への営業活動を継続しており、散発的な受注が続く見通しです。

全般的には、中小型液晶製造装置の受注が山を越えた後は半導体分野の受注に注力することで受注拡大を図る方針です。また、協力企業との取引拡大など生産流動化を進め、市場環境変動に影響されにくい構造改革に取り組んでおります。

以 上

(参考：分野別 過去一年間の四半期売上高と月次受注残高の推移)



注 1. 上記受注残高の数値は、速報値であるため、翌月以降に修正される可能性があります。また、監査法人による会計監査を受けておりませんので、本決算の数値とは差異が発生する可能性があります。

2. 当社の受注残数値は、受注別に長短さまざまなリードタイムを持つことから、売上高と直接関連するものではありません。リードタイムの長い案件が増えると受注残が多くなり、リードタイムが短い当社月間生産能力範囲内の受注が増えると受注残が減る傾向となっております。